

平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社デイトナ 上場取引所 東
 コード番号 7228 URL http://www.daytona.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)織田 哲司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)杉村 靖彦 (TEL)0538(84)2200
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	3,958	36.8	262	40.0	248	27.1	164	20.7
29年12月期第2四半期	2,894	△2.0	187	27.6	195	58.7	136	85.6

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 161百万円(18.6%) 29年12月期第2四半期 136百万円(85.5%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年12月期第2四半期	70	34	68	59
29年12月期第2四半期	64	86	63	66

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	6,857		2,774			40.0
29年12月期	6,619		2,643			39.6

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 2,743百万円 29年12月期 2,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
29年12月期	—	0.00	—	16.00	16.00	0.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,172	30.8	472	28.6	485	27.1	313	23.4	133	65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年12月期2Q	3,604,600株	29年12月期	3,604,600株
30年12月期2Q	1,260,597株	29年12月期	1,260,597株
30年12月期2Q	2,344,003株	29年12月期2Q	2,106,628株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に個人消費の持ち直しなど、緩やかな回復基調が続いております。また、世界経済においても、アメリカと中国の貿易摩擦への懸念など不安定な要素を残しつつも、緩やかな回復基調となりました。

二輪車業界では、4月からの本格的なバイクツーリングシーズンの到来とともに天候にも恵まれ、用品店への客足も順調に推移しました。

当社グループにおいては、当連結会計年度から連結対象子会社2社（国内拠点卸売事業及び小売事業）が加わったことによる売上増のほか、第1四半期に続き、国内卸売事業、アジア拠点卸売事業、小売事業ともに順調に売上が推移し、全体での売上は前年同四半期を上回りました。利益に関しても、連結対象子会社2社の利益が貢献したことにより、国内・アジア拠点卸売事業、小売事業ともにセグメント損益は前年同四半期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は39億58百万円（前年同四半期比36.8%増）、営業利益は2億62百万円（前年同四半期比40.0%増）、経常利益は2億48百万円（前年同四半期比27.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億64百万円（前年同四半期比20.7%増）となりました。

[国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業は、(株)デイトナおよび当連結会計年度から(株)ダートフリークの卸売事業が加わっております。(株)デイトナでは、インカム、スマホマウント、ツーリングバッグなどのツーリング用品に加え、ヘルメット、グローブ、バイク用ガレージ、電動アシスト自転車等が好調に推移しました。また、(株)ダートフリークの卸売事業においても売上高、利益ともに好調に推移し、前年同四半期と比べ大きく売上・利益が増加しました。この結果、国内拠点卸売事業の売上高は29億34百万円（前年同四半期比46.0%増）、セグメント利益は2億35百万円（前年同四半期比31.0%増）となりました。

なお、(株)デイトナが12月末決算であるのに対し(株)ダートフリークは9月末決算であるため、当第2四半期連結累計期間においては、(株)ダートフリークの前年10月から当年3月までの経営成績を連結しております。

[アジア拠点卸売事業]

アジア拠点卸売事業では、引き続きインドネシア市場を拠点とする販売先パートナーへの補修・消耗品の販売が堅調であり、前年同四半期並みの推移となりました。一方で仕入れコストの減少、運送費や減価償却費の減少により、セグメント利益は前年同四半期を上回ることが出来ました。結果、売上高は1億35百万円（前年同四半期比1.8%減）、セグメント利益は8百万円（前年同四半期比12.4%増）となりました。

[小売事業]

小売事業では、バイク用部品用品小売店舗等を展開する(株)ライダーズ・サポート・カンパニーおよび当連結会計年度から主に(株)ダートフリークの商品をインターネットで販売する(株)プラスを加えております。(株)ライダーズ・サポート・カンパニーでは、用品小売事業において陳列商品の充実を図った事でウェア類やヘルメット類の販売が伸長しました。車両販売事業や中古品販売事業は前年同四半期並みの売上となりました。費用においては引き続き販管費の削減を続けており、結果、営業利益で予算、前年同四半期を大幅に上回ることが出来ました。(株)プラスも予算を上回る順調な推移となり、小売事業全体で売上高は9億52百万円（前年同四半期比26.5%増）、セグメント利益は44百万円（前年同四半期はセグメント損失6百万円）となりました。

なお、(株)ライダーズ・サポート・カンパニーが12月末決算であるのに対し(株)プラスは9月末決算であるため、当第2四半期連結累計期間においては、(株)プラスの前年10月から当年3月までの経営成績を連結しております。

[その他]

太陽光発電事業においては、2012年当社屋上に300kW、2014年当社敷地内に500kW、そして2016年沼津市郊外に500kWの太陽光発電施設を設置し、計1,300kWの発電力で現在稼動しております。当第2四半期累計期間においては日射量は想定範囲内で推移しましたが、前年と比較しやや下回る売上高となりました。また、昨年5月

から新たな事業として加わったリユースWEB事業では、第2四半期連結累計期間においてはECサイトでの中古品販売金額が伸長しました。一方で引き続きアプリのダウンロード数とアクティブユーザーの獲得を最優先とする先行投資を行っております。この結果、その他事業での売上高は48百万円（前年同四半期比23.1%増）、セグメント損失は1百万円（前年同四半期はセグメント利益4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ6.4%増加し、42億50百万円となりました。これは、現金及び預金が37百万円減少しましたが、たな卸資産が2億78百万円増加したことなどによります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ0.7%減少し、26億6百万円となりました。これは、投資その他の資産が37百万円増加しましたが、有形固定資産が27百万円、無形固定資産が29百万円減少したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2億38百万円増加し、68億57百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ20.3%増加し、25億23百万円となりました。これは、短期借入金が4億56百万円増加したことなどによります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ16.9%減少し、15億59百万円となりました。これは、長期借入金が3億18百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億6百万円増加し、40億82百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5.0%増加し、27億74百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績については、平成30年8月9日発表の「第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ」にて公表しております。なお、通期業績予想につきましては、平成30年2月14日に公表いたしました数値からの変更はございません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断しているものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予想値と異なる場合がございます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	764,017	726,166
受取手形及び売掛金	790,910	833,114
たな卸資産	2,131,516	2,409,960
その他	313,627	288,336
貸倒引当金	△6,441	△6,826
流動資産合計	3,993,629	4,250,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	610,335	592,597
土地	863,962	863,447
その他(純額)	389,497	379,930
有形固定資産合計	1,863,794	1,835,974
無形固定資産		
のれん	650,538	618,011
その他	75,559	78,886
無形固定資産合計	726,097	696,898
投資その他の資産		
その他	36,766	74,764
貸倒引当金	△805	△805
投資その他の資産合計	35,961	73,959
固定資産合計	2,625,854	2,606,832
資産合計	6,619,483	6,857,582

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	376,391	337,928
短期借入金	1,246,752	1,703,226
賞与引当金	48,530	44,026
未払法人税等	85,753	131,065
その他	340,608	306,823
流動負債合計	2,098,036	2,523,070
固定負債		
長期借入金	1,817,911	1,499,617
退職給付に係る負債	798	5,570
その他	59,150	54,527
固定負債合計	1,877,860	1,559,714
負債合計	3,975,896	4,082,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,456	412,456
資本剰余金	485,563	485,563
利益剰余金	2,368,615	2,495,999
自己株式	△628,736	△628,736
株主資本合計	2,637,898	2,765,282
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△18,383	△21,568
その他の包括利益累計額合計	△18,383	△21,568
新株予約権	23,894	30,894
非支配株主持分	178	189
純資産合計	2,643,587	2,774,798
負債純資産合計	6,619,483	6,857,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,894,426	3,958,262
売上原価	1,759,203	2,298,105
売上総利益	1,135,223	1,660,156
販売費及び一般管理費	947,657	1,397,479
営業利益	187,565	262,677
営業外収益		
受取手数料	4,465	4,650
試作品等売却代	5,749	5,300
保険解約返戻金	-	14,796
その他	4,829	6,159
営業外収益合計	15,044	30,907
営業外費用		
支払利息	5,124	8,434
為替差損	763	19,476
デリバティブ評価損	-	15,792
その他	1,097	1,209
営業外費用合計	6,986	44,913
経常利益	195,624	248,670
特別利益		
固定資産売却益	1,518	487
特別利益合計	1,518	487
税金等調整前四半期純利益	197,142	249,158
法人税、住民税及び事業税	66,702	125,919
法人税等調整額	△6,258	△41,673
法人税等合計	60,444	84,245
四半期純利益	136,697	164,913
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	136,639	164,888

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	136,697	164,913
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△321	△3,197
その他の包括利益合計	△321	△3,197
四半期包括利益	136,376	161,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,319	161,704
非支配株主に係る四半期包括利益	57	10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	197,142	249,158
減価償却費	64,355	77,726
株式報酬費用	6,838	6,999
のれん償却額	-	32,526
貸倒引当金の増減額(△は減少)	109	384
受取利息及び受取配当金	△210	△177
支払利息	5,124	8,434
デリバティブ評価損益(△は益)	-	15,792
売上債権の増減額(△は増加)	△77,719	△44,875
たな卸資産の増減額(△は増加)	△52,689	△279,146
仕入債務の増減額(△は減少)	197,048	△36,505
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,640	△15,944
その他	6,158	19,652
小計	347,799	34,025
利息及び配当金の受取額	210	177
利息の支払額	△5,289	△8,611
法人税等の支払額	△100,753	△79,743
営業活動によるキャッシュ・フロー	241,967	△54,152
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16,202	△10,501
定期預金の払戻による収入	2,400	2,400
有形固定資産の取得による支出	△5,742	△38,085
有形固定資産の売却による収入	1,578	1,334
無形固定資産の取得による支出	△20,387	△14,610
貸付金の回収による収入	26	-
差入保証金の差入による支出	-	△31,548
差入保証金の回収による収入	42	4,734
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,284	△86,276
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△115,338	261,693
長期借入れによる収入	150,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△153,173	△221,820
リース債務の返済による支出	△3,992	△3,283
社債の償還による支出	△53,880	-
配当金の支払額	△35,688	△37,535
財務活動によるキャッシュ・フロー	△212,072	99,054
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,557	△4,578
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,946	△45,952
現金及び現金同等物の期首残高	264,214	645,005
現金及び現金同等物の四半期末残高	253,267	599,052

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自平成30年1月1日至平成30年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年3月23日 定時株主総会	普通株式	35,812	17.0	平成28年12月31日	平成29年3月24日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年3月27日 定時株主総会	普通株式	37,504	16.0	平成29年12月31日	平成30年3月28日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,974,889	127,926	752,558	2,855,374	39,052	2,894,426	—	2,894,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34,903	9,671	129	44,704	—	44,704	△44,704	—
計	2,009,792	137,598	752,687	2,900,078	39,052	2,939,131	△44,704	2,894,426
セグメント利益又は損失 (△)	179,773	7,829	△6,073	181,528	4,531	186,060	1,505	187,565

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額1,505千円は、セグメント間取引消去△139千円、たな卸資産の調整額1,711千円、固定資産の調整額△67千円等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,823,342	134,651	952,186	3,910,180	48,081	3,958,262	—	3,958,262
セグメント間の内部 売上高又は振替高	111,099	480	252	111,833	—	111,833	△111,833	—
計	2,934,441	135,132	952,439	4,022,013	48,081	4,070,095	△111,833	3,958,262
セグメント利益又は損失 (△)	235,451	8,803	44,197	288,452	△1,148	287,304	△24,626	262,677

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△24,626千円は、セグメント間取引消去2,090千円、たな卸資産の調整額△27,118千円、固定資産の調整額399千円等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。